



須佐小学校
校長室だより

そがり

令和6年度11月
文責 井上伸治

「切磋琢磨」する子どもたち



11月15日（金）、6年生の同和問題学習がありました。この授業は、出雲市教育委員会の同和教育啓発指導員による学校訪問指導でもあり、佐田地区人権・同和教育推進協議会の事業でもあります。

同和問題学習のねらいは、同和問題の歴史的背景を正しく理解するとともに、生活の中にある差別や偏見を見抜き、進んで問題を解決していこうとする態度を育てることにあります。今回の授業では、子どもたちが資料をしっかりと読み取り、考えて、互いに意見を出し合ったことで、そのねらいに迫ることができたように思います。



その6年生の学ぶ姿を見ていて、ふと、思い出したことがあります。ある冊子の「今月のことば」というコーナーにあった「切磋琢磨」ということばです。広辞苑には、「仲間どうし互いに励まし合って学徳をみがくこと」とあります。競い争うこと（競争）ではなく、競い合う

こと（競合）によって、互いが高められることだそうです。

6年生は、授業の中で3人グループになって、自分の考えを伝え合い、グループの意見として発表していました。発表者が言葉に詰まると、となりの子がすぐにサポート、すると、また安心して話し始める。そんな姿が見られました。まさに「切磋琢磨」だなと思いました。

安心できる学級風土があつてこそ、互いが励まし合い、支え合い、高め合う学習が成立する。そして、1人1人の学力も向上していくのだと、あらためて感じさせられた授業でした。

素晴らしい歌声&演奏でした！



11月7日（木）、西部ブロック連合音楽会が大社のうらら館で行われ4～6年生が参加しました。須佐小は窪田小の次の2番手でした。数年ぶりに保護者さんの観覧もOKになり、観客席はたくさんの人で埋まっていました。

発表したのは、合唱「小さな勇気」（梅野知子 作詞・作曲）、合奏「青と夏」（Mrs. GREEN APPLE）です。校内発表から、さらに歌声と演奏に磨きをかけ本当に素晴らしい発表となりました。たくさんの方の前で発表することは、とても緊張することとは思いますが

が、ステージから下りてくる子どもたちの顔には、精いっぱいやった達成感が感じ取れました。



第3回縦割り班遊び

11月12日(火) 昼休み、第3回縦割り班遊びがありました。連合音楽会もあったのにもかかわらず、いつの間にか、ちゃんと6年生が準備をしてきていました。

今回は、天候のことも考えて、すべて室内での活動、しかも体育館は使わない。準備された遊びも「名探偵ゲーム」「マジカルバナナ」「クイズ大会」「ピンポン大脱出」「ワードウルフ」「多数派ゲーム」「福笑い」「じゃんけんパズル」「お絵かき・言葉伝言ゲーム」と、9班すべて違う遊び、6年生すごいですね。

もちろん、どの班も遊びをしっかりと楽しみ、みんなにっこり笑顔になりました。6年生、本当にありがとう！！



防犯教室

10月31日(木)に防犯教室を行いました。出雲市子ども安全センター、出雲警察署、佐田駐在所、スクールガードリーダー、まちな安全指導員、青パト隊、少年補導委員、たくさんの方々にお世話になりました。

まずは、不審者対応の合言葉にもなっている「イカのおすし」を全校で確認をしました。知っているだけではだめで、実践できることが大切ということで、その後は、学年に分かれて声掛けの模擬体験をしました。

<イカのおすしの確認>



<声掛け模擬体験>



<大人に知らせる練習>



ふりかえりでは、「大声を出すのがむずかしかった」という声がありました。訓練ですらそうなので、本当に不審者に遭遇したら、なおのことと思います。時々、「たすけてー」と大声を出す練習が必要なのかもしれません。

不審者もですが、クマにもご用心です。